

2023/12/14～_証明書のインポート手順 Microsoft Internet Explorer, Edge編・Google Chrome編

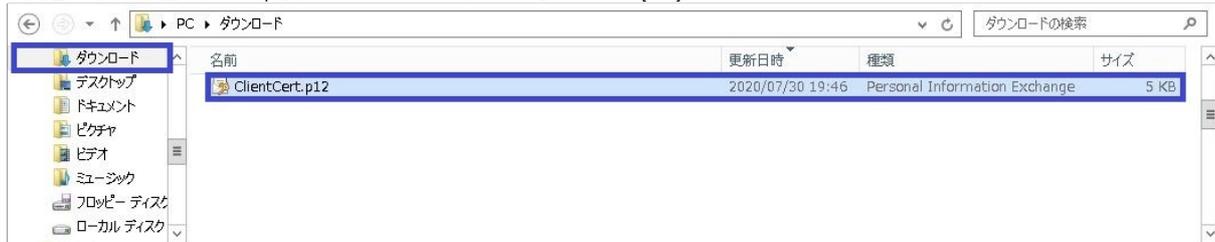
作成者 Takuma Yamamoto、最終変更日2023/11/22

Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポート手順

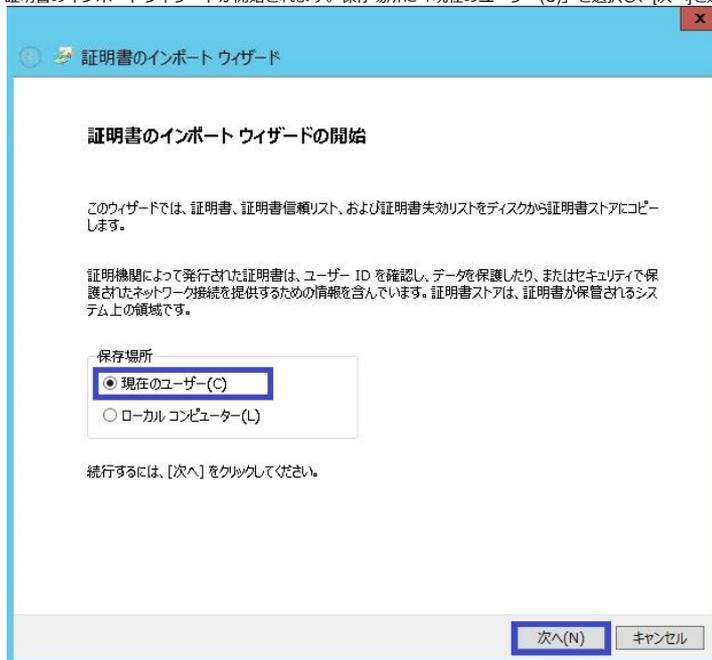
ここではMicrosoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの証明書のインポート手順について記述します。

Microsoft Internet Explorer, Edge, Google Chromeでの手順

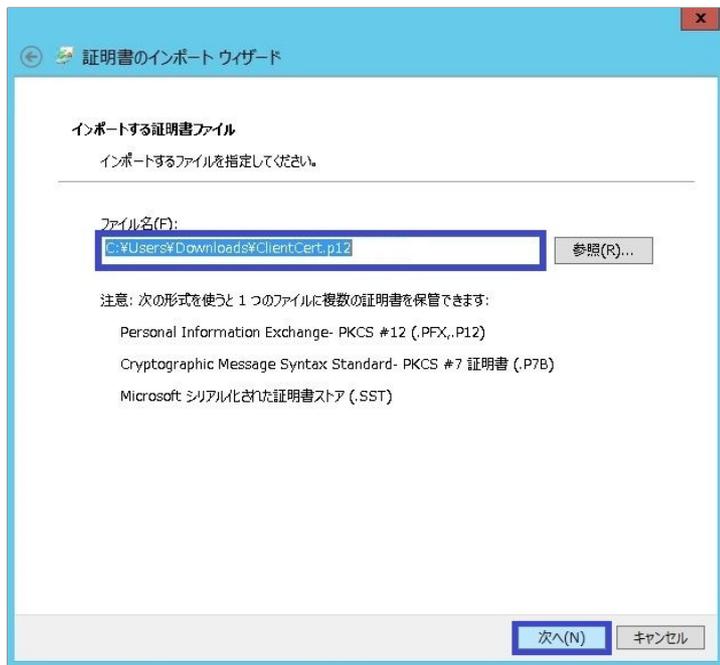
1. ダウンロードフォルダにある証明書のp12ファイルをダブルクリックもしくは右クリックから[開く]を選択してください。



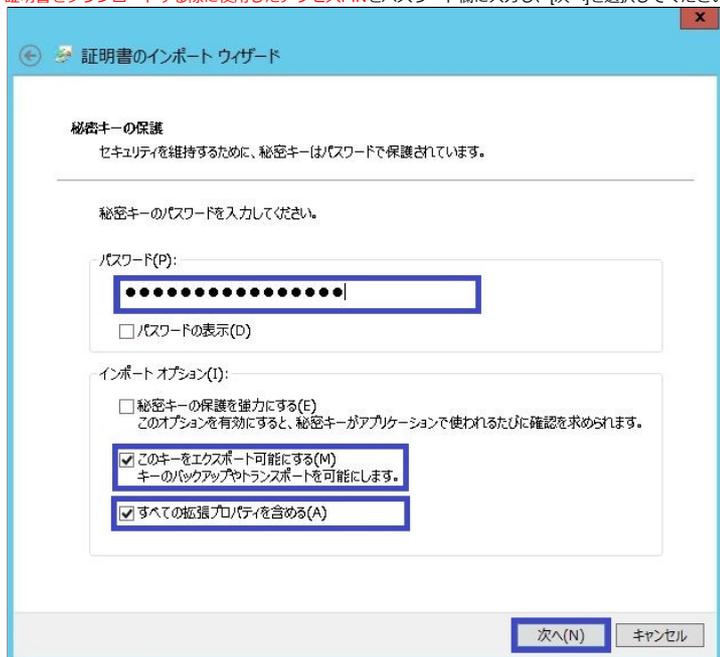
2. 証明書のインポートウィザードが開始されます。保存場所に「現在のユーザー(C)」を選択し、[次へ]を選択してください。



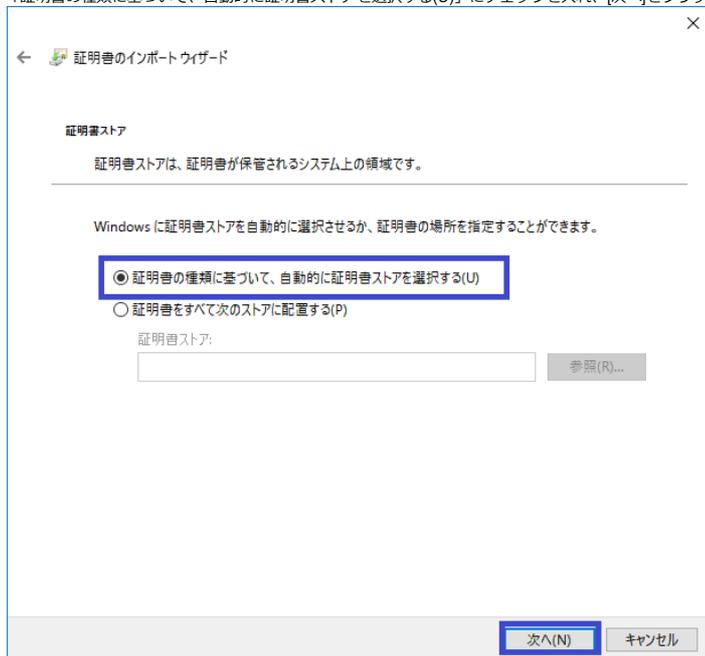
3. ファイル名にインポートする証明書のp12ファイルが選択されていることを確認し、[次へ]を選択してください。
(インポートする証明書のp12ファイルが選択されていない場合は[参照]をクリックして、インポートする証明書のp12ファイルを選択してください)



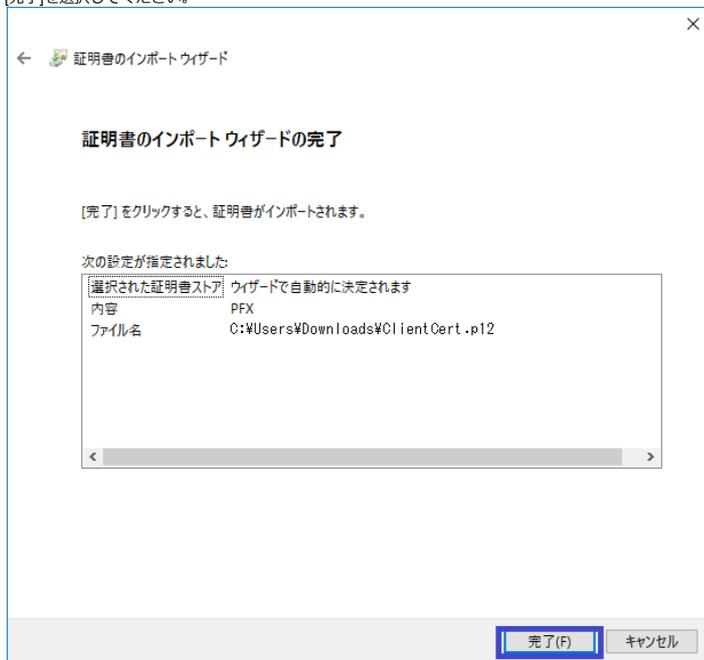
4. 「このキーをエクスポート可能にする(M)キーのバックアップやトランスポートを可能にします。」と「全ての拡張プロファイルを含める(A)」にチェックを入れ、**証明書をダウンロードする際に使用したアクセスPIN**をパスワード欄に入力し、[次へ]を選択してください。



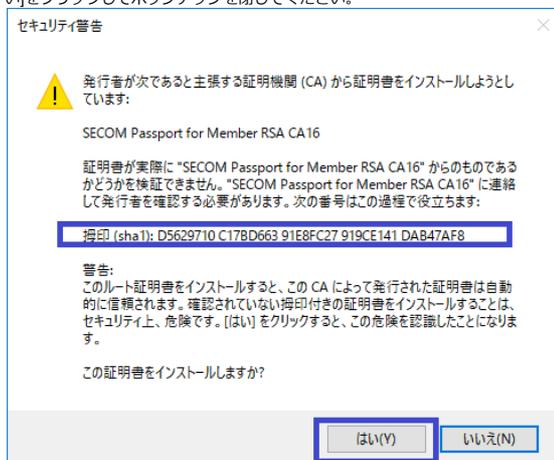
5. 「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)」にチェックを入れ、[次へ]をクリックしてください。



6. [完了]を選択してください。



7. ルート証明書がインストールされていない場合、セキュリティ警告画面がポップアップします。「拇印 (sha1)」が「D5629710 C17BD663 91E8FC27 919CE141 DAB47AF8」であることを確認し、[はい]をクリックしてポップアップを閉じてください。



8. 「正しくインポートされました。」とポップアップが表示されるとインポートは完了です。[OK]をクリックしてポップアップを閉じてください。



以上で、Microsoft Internet Explorer、Edge、Google Chromeでの証明書のインポートは完了しました。
「[証明書の存在確認手順 Internet Explorer編](#)」、「[証明書の存在確認手順 Microsoft Edge編](#)」もしくは
「[証明書の存在確認手順 Google Chrome編](#)」を実施し、証明書がインポートされていることを確認してください。